

【専門試験(多肢選択式)】(森林・自然環境)

「森林・自然環境」区分は、必須問題と選択問題に分かれています。全部で121題出題し、このうち40題解答します。必須問題については、13題の全てを解答してください。選択問題については、108題から決められた方法により、27題解答してください。

○必須問題

森林・自然環境に関する基礎科学4題、森林・自然環境の現状と基本政策5題、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎4題

○選択問題(12科目(各9題)108題から3科目(27題)選択)

選択問題は次の12科目(各9題)、計108題から構成されています。

森林環境科学(森林政策及び林業動向を含む。)

森林資源科学(森林立地及び森林保護を含む。)

森林生物生産科学(森林経営・育林技術・森林工学)、砂防学基礎、砂防工学、流域管理、造園学原論・造園材料、造園計画(自然公園)、造園計画(都市公園)、木材特性・木質構造、木材加工・材質改良、木材成分利用(特用林産を含む。)

* 解答する問題は、科目ごとの選択となります。科目をまたがっての選択はできません。例えば、砂防工学から5題、流域管理から4題選択して1科目分とすることはできません。

<受験者へのメッセージ>

林学、砂防、造園、林産関係を専攻する方々の専門分野を重視した試験内容としています。



必須問題については、これまでは、生物学、地学や各分野に関係する白書などから出題されてきました。



専門科目については、大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書や事典、ハンドブックなどのほか、各分野に関係する白書や主要な法律なども勉強するとよいでしょう。



そのほか、新聞や公的機関のホームページを見て、時事的な内容や統計データにも関心を持ちましょう。また、英文の問題をこれまでは何題か出題していました。

